

# 北海道勇払郡占冠村

## ① 占冠村コミュニティプラザ(占冠村公民館)

### 施設HPアドレス

<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/kyouiku/nmudtq00000053py.html>

### <ポイント>

- ・子育て世代や高齢者のふれあいの場として、世代間交流の機会を創出。
- ・高齢者及び子供の利用頻度が高い図書室・児童室を入口近くに配置し、利便性を確保。

### 施設概要

- 複合施設(床面積) / 1,333.40㎡
  - ・占冠村コミュニティプラザ(公民館)(1,333.40㎡)
  - ・公民館図書室(222.34㎡)
- 整備時期/平成6年
- 構造/鉄筋コンクリート造・平屋建
- 総工費/5.9億円
- 主な財源/地域総合整備事業債(3.8億円)  
一般財源(2.1億円)



占冠村コミュニティプラザ(占冠村公民館)

### 施設整備の背景

- ・村民集会室、図書室を役場庁舎内に設置していたが、役場庁舎の改装に伴い、村民の集いの場として多目的施設「占冠村コミュニティプラザ」を整備した。
- ・姉妹都市であるアメリカ合衆国コロラド州アスペン市のデザインチームがデザインした。

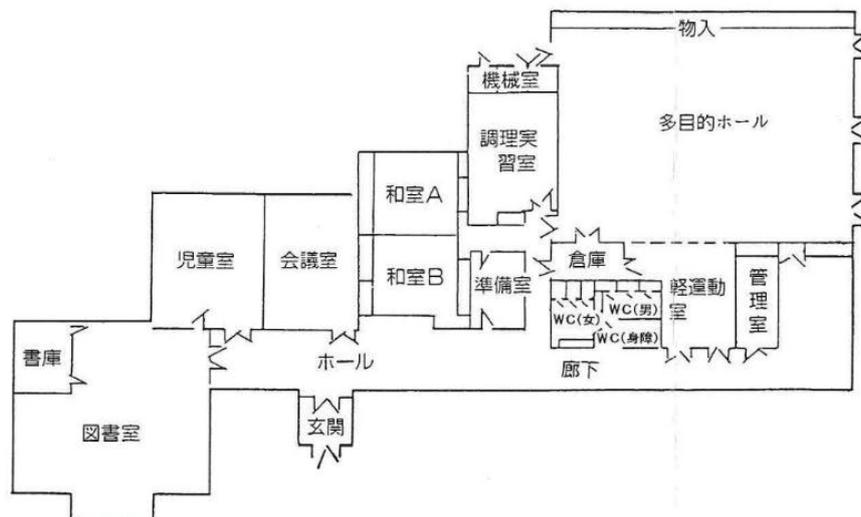
### 管理・運営の体制

| 施設             | 利用時間       | 所管    | 管理・運営 | 職員数   | 複合化前職員数 |
|----------------|------------|-------|-------|-------|---------|
| コミュニティプラザ(公民館) | 9:00～18:00 | 教育委員会 | 教育委員会 | 1(臨時) | —       |
| 図書室            | 9:00～18:00 | 公民館   | 公民館   | 1(臨時) | —       |

### 平面計画上の特徴

### <ポイント>

- ・高齢者及び子供の利用頻度が高い図書室・児童室を入口近くに配置することで、利便性を確保している。



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・ 占冠村中心部に位置し、道の駅「自然体験占冠」・占冠村ショッピングセンターに隣接していることから、住民の身近な生涯学習施設として利用が促進されている。
- ・ 子育て世代や高齢者のふれあいの場として、世代間交流の機会が創出されている。
- ・ 各種公民館教室やサークル活動、各種団体の会議、イベント等、学びの場、集いの場として幅広い住民に利用されている。

### 【課題】

- ・ 施設開設から 20 年以上が経過し、老朽化による施設維持管理経費が増加している。

## 主な特徴

|                   |   |                      |
|-------------------|---|----------------------|
| 集約化・複合化による相乗効果の発揮 | ○ | コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり |
| 住民の意見の取り入れ・反映     |   | 民間の力の活用（PFI など）      |
| 管理運営の工夫           |   | その他                  |

### 【相互利用・交流活動】

■ 青巖太鼓（伝統芸能）、高齢者大学、図書推進事業、各種公民館教室、子育て支援、各種イベントの開催等でコミュニティの拠点として利用されている。

#### ■ 効果・課題

- ・ 子育て世代や高齢者のふれあいの場として、世代間交流の機会が創出されている。
- ・ 各種公民館教室やサークル活動、各種団体の会議、イベント等、学びの場、集いの場として幅広い住民に利用されている。
- ・ 大型スクリーン（200インチ）を整備し、各種事業や講演等で活用されている。
- ・ 情報端末機器の進歩に伴い、インターネット（wi-fi）環境の整備が急務となっている



幅広い年代が参加した朗読会

## 地域住民・利用者等の声

- ・ 毎週フロアカーリングで利用しているが、村の中心部にあり、利用しやすく便利。
- ・ 各種会議や冠婚葬祭にも利用できることから、多目的な施設で使い勝手も良い。
- ・ 放課後に図書室に寄ったり、軽運動室で卓球をしたり、管理人もいるので安心な居場所となっている。
- ・ 児童室は子育て中の親の情報交換の場として有効に活用している。

# 北海道苫前郡苫前町

## ② 苫前町公民館

### 施設HPアドレス

<http://www.town.tomamae.lg.jp/section/kyoiku/shakaikyoiku/oa5p850000002j8c.html>

### <ポイント>

- ・ 町内の公民館分館を集約するとともに、支所機能を移転させ一元化し、公民館活動の充実や住民サービスの向上など行政機能全般が向上。

### 施設概要

- 複合施設（床面積） / 2,499.72㎡
  - ・ 苫前町公民館（1,396.10㎡）
  - ・ 苫前町農村環境改善センター（572.24㎡）
  - ・ 共用（531.38㎡）
- 整備時期 / 平成3年
- 構造 / 鉄骨・鉄筋造平屋建
- 総工費 / 1.4億円
- 主な財源 / 公立社会教育施設整備費補助金・農村総合整備モデル事業補助金・北海道市町村振興補助金・過疎対策事業債



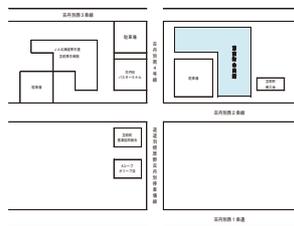
生涯学習の拠点として活用されている苫前町公民館

### 施設整備の背景

- ・ 旧児童会館（公民館古丹別会館）は公民館としての設備機能に乏しく、また、老朽化が進み、町民ニーズに即応する事業展開ができないことから新公民館の建て替え協議が浮上。
- ・ 本町は小集落が分散しており、公民館事業は分館において対応していたが、施設規模等において思うような活動ができないことから、活動の場を新公民館に集約。各地区の住民が集うコミュニティの拠点となる。
- ・ 平成16年度には、効率的な行政サービス提供するため、古丹別支所の事務所を公民館事務室に移転。

### 施設の配置

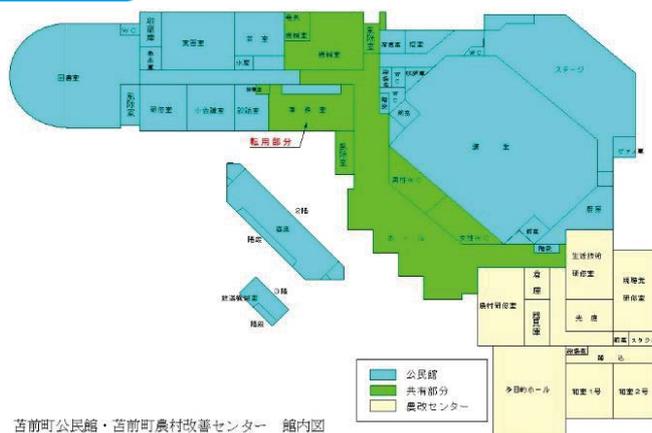
- ・ 古丹別市街地のほぼ中央に位置しており、その周辺には本町の医療機関や地域の交通の拠点であるバスターミナル、産業団体である農業協同組合や商工会が隣接している。



### 管理・運営の体制

| 施設         | 利用時間        | 所管    | 管理・運営 |
|------------|-------------|-------|-------|
| 公民館        | 9:00～22:00  | 教育委員会 | 教育委員会 |
| 農村環境改善センター | 9:00～22:00  | 町長部局  | 教育委員会 |
| 図書室        | 10:00～17:00 | 教育委員会 | 教育委員会 |
| 古丹別支所      | 8:30～17:15  | 町長部局  | 町長部局  |

### 平面計画上の特徴



苫前町公民館・苫前町農村改善センター 館内図

### <ポイント>

- ・ 講堂の一部客席を除き、平屋建となっており、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の学習施設として、利用しやすい施設となっている。
- ・ 講堂には、電動駆動観覧席を設置し、フロアを使用する事業、観覧席を使用する事業に対応した多目的利用が可能である。
- ・ 図書室には別に玄関を設け、直接入室できるようになっている。

## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・古丹別市街地のほぼ中央に位置しており、その周辺には本町の医療機関や地域の交通の拠点であるバスターミナル、産業団体である農業協同組合や商工会が隣接し、利便性の高い環境となった。
- ・公民館機能と支所機能の一元化により、地域住民のより活発な施設活用や情報提供の円滑化により、公民館活動の充実や住民サービスの向上など行政機能全般の向上につながった。

### 【課題】

- ・農村地域の高齢化・核家族化が進行し、公民館までの交通手段の確保が必要となってきた。

## 主な特徴

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮 | ○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり |
| 住民の意見の取り入れ・反映       | 民間の力の活用（PFI など）        |
| 管理運営の工夫             | その他                    |

### 【苫前町公民館】

町民や文化団体、サークル等の研修や趣味、教養、交流等の場として活用



公民館フェスティバルの陶芸体験



高齢者学級



樹脂粘土サークルの活動

### 【苫前町農村環境改善センター】

農業団体、サークル等の研修や趣味、教養交流等の場として活用



農閑期を利用した、健康づくり教室



冬期間交流しながら活動する「ウィンタークラブ」



農村のお母さんが講師となった公民館講座「大福づくり」



### 【苫前町図書室】

図書活動の場として幼児から高齢者まで幅広い町民が活用



図書室でボランティアによるおはなし会

### 【苫前町役場古丹別支所】

古丹別地区方面の住民サービス関連窓口として活用



## 地域住民・利用者等の声

- ・市街地に立地し、公民館活動や研修参加時に、買い物や事業所等への用事を済ませることができて便利。
- ・転入手続きに来て、サークルを見つけて活動に参加し、友達ができた。
- ・農村女性から「かぼちゃ入り大福づくり」を教えてもらって、地域の食材を使った料理のレパートリーが増えた。

# 北海道利尻郡利尻町

## ③利尻町交流促進施設“どんと”

### <ポイント>

- ・ 離島にある複合施設のため、冠婚葬祭、コンサート等多様なイベントに対応。
- ・ 観光客や島内の自治体間の相互交流の利用も多い。

### 施設概要

- 複合施設（床面積） / 3,481.19㎡
  - ・ ホール（936㎡）
  - ・ 郷土資料室（292.125㎡）
  - ・ 陶芸室（84.9㎡）他
- 複合化前の総床面積 / 2,583.55㎡
- 整備時期 / 平成 14 年
- 構造 / 鉄筋コンクリート造・地上 3 階
- 総工費 / 18.4 億円
- 主な財源 / 新山村振興等農林漁業特別対策事業・辺地対策事業



### 施設整備の背景

- ・ 各施設及び設備の老朽化
- ・ 各施設の分散化
- ・ 社会的エディケーション志向の高まり
- ・ ニーズの多様化
- ・ 地域文化の停滞

### 管理・運営の体制

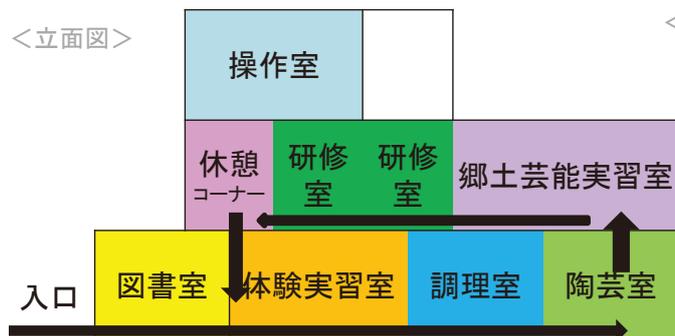
| 施設    | 利用時間         | 所管    | 管理・運営 | 職員数 | 複合化前職員数 |
|-------|--------------|-------|-------|-----|---------|
| 郷土資料室 | 9:30 ~ 17:30 | 教育委員会 | 教育委員会 | 1   | 1       |
| その他   | 9:00 ~ 21:30 | 教育委員会 | 教育委員会 | 2   | 1       |

### 施設の配置・動線

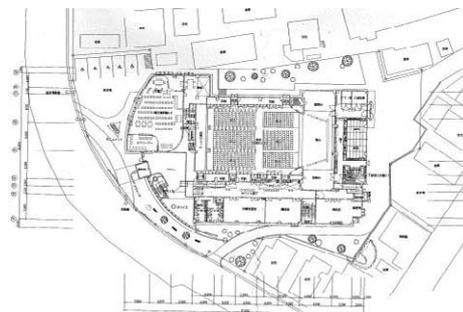
#### <ポイント>

- ・ 郷土資料室とホールを主とし、複合的に使用できる設備配置としている。
- ・ ホールを可動席とすることで、イベント（結婚式等）にも対応できるようにしている。

#### <立面図>



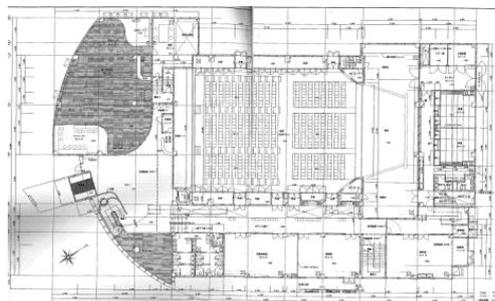
#### <配置図>



### 平面計画上の特徴

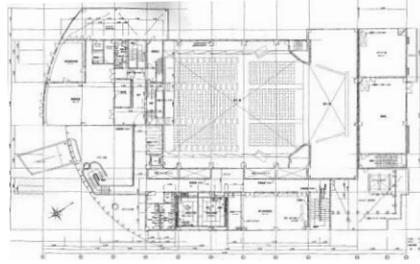
#### <ポイント> 1F

- ・ 出入り口に近い場所に郷土資料室
- ・ ホールは可動席として、多目的に活用できる。
- ・ 陶芸室は利用者が釜の温度管理が出来るように出入口を別に設置
- ・ 体験実習室と調理室は移動式の壁を設置することで、多目的に使用することが出来る。
- ・ ロビーにて住民が交流出来るスペースを確保し、展示や小イベントを行えるようにしている。



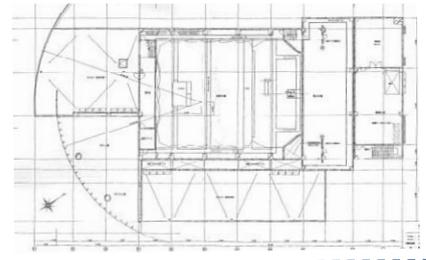
### <ポイント> 2F

- ・休憩コーナーの設置
- ・郷土芸能実習室は、音響システム・防音設備を完備しリハーサル等にも対応。
- ・研修室（和室）は、茶道・華道にも対応できる。



### <ポイント> 3F

- ・操作室や舞台設備関係を3階に集約



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・施設維持費の集約
- ・郷土資料室（図書室）利用者増・観光客利用増
- ・各団体の活動・創作・発表の連動化
- ・子供から高齢者までの交流施設
- ・多種多様な事業の開催

### 【課題】

- ・専門職員（指導系・技術系）の配置
- ・建設後補助等の減少
- ・多種多様な事業への対応
- ・施設の維持・管理・修繕

## 主な特徴

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮 | ○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり |
| 住民の意見の取り入れ・反映       | 民間の力の活用（PFI など）        |
| ○ 管理運営の工夫           | その他                    |

### 【多目的から多機能利活用へ】

- ・夏・冬休み小中学校学習会
- ・利礼3町交流会（宿泊研修会）
- ・文化祭・文化展示会
- ・ロビースペースの開放（作品展示や集い）
- ・ミュージカル（劇団四季）開催
- ・コンサートの開催
- ・冠婚葬祭
- ・ICTを活用してのふるさと教育
- ・保育所のお遊戯会 他



### 【離島にある施設特徴】

- ・郷土資料室（図書室）夏期間については、観光客の利用率が高い。（郷土資料の確認や花・魚に関する資料の利用、PC利用が多くなる）
- ・島内に2町あり相互交流利用が多い。
- ・離島の中では施設設備が充実しているため、離島イベントの依頼が多くある。
- ・限られた会場スペースにて、多様なイベントに対応するためのレイアウト等を変更出来るようにしている。（冠婚葬祭、コンサート、講演会、運動スペース等）
- ・音響・照明設備に関して専門業者がいないため、若手の行政職員に毎年研修を行い運営を行う。

## 地域住民・利用者等の声

- ・町の中に集約されたことにより利用しやすくなった。
- ・サークル活動を行った後に図書室を利用するなどができる。
- ・開放的なロビーがあるため利用しやすくなった。
- ・コンサートやミュージカルなど島外に行くしか見られなかったものが見られるようになった。

# 北海道十勝郡浦幌町

## ④浦幌町教育文化センター

### 施設HPアドレス

<http://www.urahoro-kyouiku.jp/education/>

### <ポイント>

- ・点在していた施設を複合化し、図書館と博物館が連携した企画展示が生まれる。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）／2,542.17㎡
  - ・浦幌町立図書館（861.21㎡）
  - ・浦幌町立博物館（378.56㎡）
- 複合化前の総床面積／374.82㎡
- 整備時期／平成11年
- 構造／鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）・地上2階
- 総工費／約10億円
- 主な財源／起債（地域総合整備事業債）



愛称「らぼろ21」として町民に親しまれている

### 施設整備の背景

- ・開町100年を記念して開設。
- ・「らぼろ21」は、文化と情報の複合施設で、町名の由来である「オーラポロ」をもじり、21世紀に向けて大きく飛躍したいとの願いが込められている。

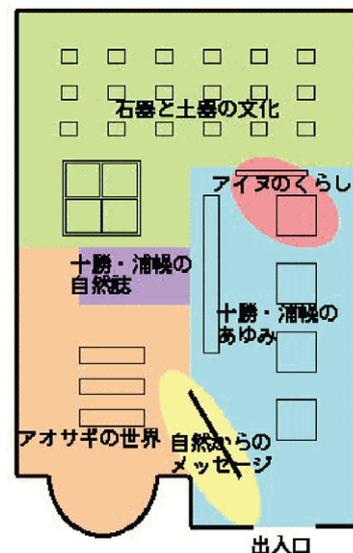
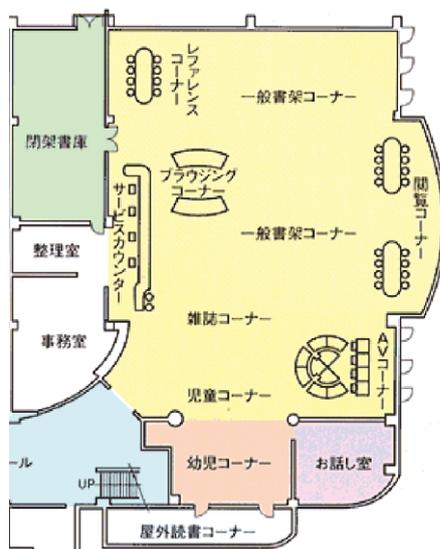
### 管理・運営の体制

| 施設  | 利用時間        | 所管    | 管理・運営 | 職員数 | 複合化前職員数 |
|-----|-------------|-------|-------|-----|---------|
| 図書館 | 10:00～18:00 | 教育委員会 | 教育委員会 | 5   | 1       |
| 博物館 | 10:00～17:00 | 教育委員会 | 教育委員会 | 2   | 1       |

### 平面計画上の特徴

#### <ポイント>

- ・1階のフロアに図書館と博物館が併設しており、学習の場として広く利用されている。
- ・図書館は、蔵書数80,000万冊（視聴覚資料及び雑誌含む）以上を所蔵し、ゆったりとくつろいだ雰囲気の中で利用できる。
- ・博物館は、郷土浦幌をより分かりやすく理解していただくよう歴史・自然・文化などを6つのテーマに分けて展示している。



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・施設整備前では施設が点在していたことで、利用者が必要に応じて移動をしていたが、複合化・集約化により、一度で利用できる効果が生まれた。
- ・連携した事業を展開することでコミュニティの拠点作りとなっている。
- ・移動することが無いので、乳児を抱える家庭や高齢者への配慮がなされる施設となった。

### 【課題】

- ・年々老朽化が進むため、計画的な整備計画が必要である。
- ・少子高齢化の課題を抱えるため、近隣町村との広域的な連携事業が必要である。

## 主な特徴

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮 | ○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり |
| 住民の意見の取り入れ・反映       | 民間の力の活用（PFI など）        |
| 管理運営の工夫             | その他                    |

### 【相互利用・交流活動】

- ・平成 24 年 8 月に町内茂川流布の K-T 境界層直下から発掘されたアンモナイト化石のレプリカの特別公開を図書館内で行い、合わせて関連するアンモナイトや化石に関する図書の企画展示を行った。
- ・相乗効果で来館者が増加し、情報提供とともに学習の幅を広げることができる。



特別企画「絶滅したアンモナイト展」

### 【住民等からの意見反映】

- ・毎年 3 回図書館博物館協議会を開催することで、管理運営に関し必要な事項について調査審議を実施。
- ・適時、図書館司書が利用者からの意見等に対応できるようカウンター業務に努めている。

### 【民間の力の活動】

- ・図書館ボランティアを育成・支援しながら地域ぐるみの読書活動推進を図る。
- ・博物館では、各大学と連携した事業を行なうことで地域教育力の向上に役立っている。

## 地域住民・利用者等の声

- ・愛称「らぼろ 21」は、広報誌や新聞広告で募集を募り、182 点の中から決定した愛称。
- ・図書館の休館日を減らしてほしい。
- ・博物館が立派なので、観光施設としてもっとアピールしてほしいと思う。

# 岩手県北上市

## ⑤おでんせプラザぐるーぶ

### 施設HPアドレス

<http://www.kitakami-manabi.jp/>

### <ポイント>

- ・大型店舗が撤退し、駅前のにぎわいを取り戻すために商業ビルを活用。
- ・ビルには、飲食店、商業施設、オフィス、医療機関も入居し、年1回交流事業を実施。

### 施設概要

- 複合施設(床面積) / 2,380.15㎡
  - ・生涯学習センター(国際交流ルーム含む)(2,213.21㎡)
  - ・大通り保育園地域子育て支援センター(166.94㎡)
  - ・地下(飲食店) ・1階(商業施設)
  - ・2階及び4階(オフィス、医療機関)
- ※ビル全体延べ床面積 24,498㎡
- 整備時期/平成13年度(子育て支援センターは平成17年度から)
- ※ビル本体は昭和61年に完成
- 構造/鉄骨・鉄筋コンクリート造・地上4階、地下1階



生涯学習センターが入居するビル

### 施設整備の背景

- ・平成9年に策定した「北上市生涯学習推進基本計画」で生涯学習センター構想があったこと。
- ・既存の中央公民館が老朽化し、取り壊されることになったため代替施設を求められていたこと。
- ・当ビルにテナントとして入っていた大型店舗が撤退し、駅前のにぎわいを取り戻す方策として公的施設の設置が求められていたこと。

### 管理・運営の体制

| 施設        | 利用時間          | 所管    | 管理・運営 | 職員数 | 複合化前職員数 |
|-----------|---------------|-------|-------|-----|---------|
| 生涯学習センター  | 10:00 ~ 21:00 | 教育委員会 | 教育委員会 | 12  | —       |
| 国際交流ルーム   | 13:00 ~ 19:00 | 市長部局  | 市長部局  | 4   | —       |
| 子育て支援センター | 10:00 ~ 16:00 | 教育委員会 | 教育委員会 | 5   | —       |

### 施設の配置・動線

#### <ポイント>

- ・北上市生涯学習センター、国際交流ルーム及び大通り保育園はビル3階フロアのほぼ全体を占有し、公的施設がワンフロアに集約されている。
- ・ビルの地下には飲食店、1階には商業施設、2階、4階にはオフィス、医療機関が入居し、当施設が入居する3階を含めて多くの市民が訪れている。

### 平面計画上の特徴



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・ 3施設で会議室や学習室を共有できるので、効率的である。
- ・ 誰もが自由に入出入りできる交流サロンがあり、それぞれの目的で来所した利用者が交流することができる。
- ・ 社会教育団体や市民活動団体に活動室を貸出しているが、それら団体がセンターを中心に活動し、活動の輪が広がっている。

## 主な特徴

|   |                   |   |                      |
|---|-------------------|---|----------------------|
| ○ | 集約化・複合化による相乗効果の発揮 | ○ | コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり |
|   | 住民の意見の取り入れ・反映     | ○ | 民間の力の活用（PFI など）      |
|   | 管理運営の工夫           |   | その他                  |

### 【相互利用・交流活動】

毎年11月に生涯学習センターで開催する遊・YOU 学園祭&ワン・ワールド・フェスタと併せてビル全体でお祭りを開催しており、ビル内のテナント同士が交流するとともに、それぞれの事業内容・成果を広く市民に周知する機会となっている。

### 【民間の力】

- ・ 生涯学習センター内にNHK文化センターが入居し、市と協働、共催により北上教室を開設し、趣味や教養といった分野でのニーズに応え、市民に学習機会を提供している。



遊・YOU 学園祭&ワン・ワールド・フェスタ

## 施設関係者のコメント

- ・ 年間6万人を超える施設利用があり、市の行事も多く開催されている。市民への認知も確実に広がっているものと感じている。
- ・ JR北上駅前という立地から高校生の利用も増えている。交流サロンで自習をしたり、仲間どおしで歓談するという利用が多いが、今後、生涯学習や国際交流に興味を持ってもらえるよう情報提供などに取り組んでいければと考えている。

# 岩手県

## ⑥いわて県民情報交流センター(アイーナ)

施設HPアドレス

<http://www.library.pref.iwate.jp>

### <ポイント>

- ・狭隘化、老朽化などにより改築・移転等が必要となっていた諸施設と新設施設を含めて複合施設として整備し、建設費と維持管理費を節減。

### 施設概要

- 複合施設(床面積) / 45,875 m<sup>2</sup>
  - ・うち 岩手県立図書館(約 10,590 m<sup>2</sup>)
  - ・他に運転免許センターやパスポートセンター等の県の施設が多く入居
- 複合化前の総床面積
  - ・岩手県立図書館 / 3,658.87 m<sup>2</sup>
- 整備時期 / 平成 18 年
- 構造 / 鉄骨造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)・地下1階地上9階
  - ・うち 岩手県立図書館(地上4階うち公開閲覧スペース3~4階)
- 建設工期、総事業費 / 31ヶ月、約 245 億円
- 主な財源 / 県債、一般財源



いわて県民情報交流センター「アイーナ」全容

### 施設整備の背景

- ・現在複合施設に入居している岩手県立図書館等について、施設の老朽化、狭隘化が顕著であったため早急に整備する必要があった。
- ・「盛岡駅西口地区県有地活用基本計画」により、多様化する県民ニーズに対応し、県民相互の交流と連携を図る拠点の整備が求められていた。また、当該地区の都市機能、拠点性の向上が求められていた。

### 管理・運営の体制

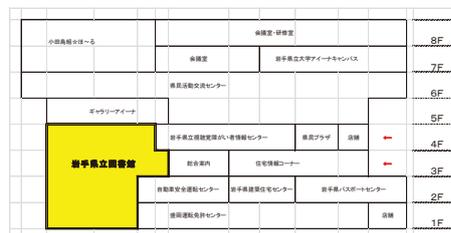
| 施設      | 利用時間         | 所管    | 管理・運営 | 職員数             | 複合化前職員数 |
|---------|--------------|-------|-------|-----------------|---------|
| 岩手県立図書館 | 9:00 ~ 20:00 | 教育委員会 | 教育委員会 | 県:9<br>指定管理者:47 | 県のみ:24  |

### 施設の配置・動線

#### <ポイント>

- ・東北新幹線をはじめとするJR線やバス路線が集中するJR盛岡駅の至近に位置するため、県内外からの施設利用者や市町村施設にとっての交通利便が優れている。
- ・児童から高齢者の方、体の不自由な方まで利用いただくため、ユニバーサルデザインに配慮した施設となっている。

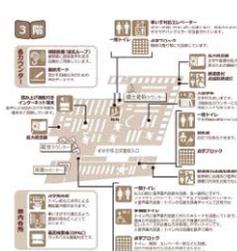
<立面図>



<配置図>



### 平面計画上の特徴



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・狭隘化、老朽化などにより改築・移転等が必要となっていた諸施設と新設の施設を含めて複合施設として整備することにより、それぞれの施設を単独で整備するよりも建設費と維持管理費が大幅に節減される。
- ・施設利用について、施設内に入居する他施設やその利用者との相乗効果が期待できる。
- ・複合施設に位置付けられた警備業務と併せた防犯対策をとることができる。
- ・施設内に入居する他施設と連携した事業を実施できるの利用者との相乗効果が期待できる。

| 区分   | 入館者数(人) |
|------|---------|
| 17年度 | 179,829 |
| 18年度 | 533,769 |
| 19年度 | 526,049 |
| 20年度 | 533,934 |
| 27年度 | 462,543 |

※ 平成18年度は4月1日から5月7日まで一部(新聞・雑誌コーナーのみ)閉館。  
また、平成17年度は12月1日から3月31日まで新館移転作業のため休館。



複合施設で連携した「バックヤードツアー」



子育てサポートセンターと連携した「おはなしきいて」

### 【課題】

- ・入館者数について、平成20年度をピークに減少傾向にある。
- ・図書館専用の駐車場がないため利用者からの苦情を時々受けるが、交通利便性の極めて高い盛岡駅に隣接しているため、出来るだけバス等の公共交通機関を利用していきたいと願っている。

なお、図書館専用ではないが、複合施設1階入り口脇に5台分の障害者用駐車場を設置している。

設備、備品等について、経年劣化等によるランニングコストが増加している。



## 主な特徴

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮 | ○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり |
| 住民の意見の取り入れ・反映       | ○ 民間の力の活用 (PFI など)     |
| 管理運営の工夫             | その他                    |

### 【相互利用・交流活動】

- ・図書館スタッフが複合施設内の子育てサポートセンターに出張し、幼児やその保護者向けにお話し会を実施している。
- ・複合施設と共同したバックヤードツアーを開催している。
- ・複合施設の広報紙に催事情報を提供している。
- ・複合施設と連携し防災訓練を実施している。
- ・複合施設の入居施設等が毎日開催しているミーティング等に参加している。



防災訓練

### 【コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり】

- ・複合施設の入居施設等が開催している「復興バザー」に、商品の提供やブース設営等、協力して取り組んでいる。
- ・平成23年から毎年施設周辺で開催されているブックイベント「モリプロ」に資料展示で参加している。



### 【民間の力の活動】

- ・地方自治法が改正され指定管理者制度が創設されたことにより、複合施設の多機能ホールや研修室、会議室の運営、施設の維持管理等について、指定管理者制度を導入して運営することとなった。  
上記を踏まえ、県立図書館でも複合施設全体として指定管理者制度を導入した。
- ・メリットとして、「職員数及び司書等資格者の増加」「接遇や企画展示の充実による住民サービスの向上」等が挙げられる。
- ・デメリットとして、人材育成(県側の専門職員の育成)や組織・体制上(指定管理者と県との協働等)の課題が挙げられる。

## 地域住民・利用者等の声

- ・年1回来館者や非来館者を対象にアンケートを実施している。
- ・来館者アンケートでは、図書館サービスについては概ね満足を得ているが、「本の品揃えの充実」「本などの資料の探しやすさ」が課題となっており、今後も利用しやすい図書館を目指し改善の取り組みを続けていきたい。
- ・非来館者アンケートでは、「ホームページでの蔵書検索」「市町村立図書館への資料の協力貸出」への利用してみたいとの回答が多かったことから、直接来館することが難しい方への地域の図書館と連携した図書館サービスの提供や活用方法の周知に努めたい。

# 岩手県紫波郡紫波町

## ⑦オガールプラザ

### 施設HPアドレス

<http://ogal-shiwa.com/>

### <ポイント>

- ・ 普遍的な集客を図る施設と、来場者の誘導を図る民間の複合開発により、エリア価値が高まり、雇用が生まれ、人も集まっている。

### 施設概要

- 複合施設（床面積） / 5,822㎡
  - ・ 紫波町図書館（1,574㎡）
  - ・ 紫波町地域交流センター（1,197㎡）
  - ・ 子育て応援センター（495㎡）
  - ・ 民間施設（2,348㎡）
- 整備時期 / 平成 24 年
- 構造 / 木造（一部 RC 造）・地上 2 階
- 総工費 / 10.7 億円（公共部分 8.1 億円）
- 主な財源 / 社会資本整備総合交付金（公共部分）



官民複合施設「オガールプラザ」外観

### 施設整備の背景

- ・ JR 東北本線紫波中央駅前の未利用町有地 10.7ha の存在
- ・ 図書館新設の住民要望
- ・ 財政問題（実質公債費率の悪化）
- ・ 公民連携手法による官民複合施設として整備

### 管理・運営の体制

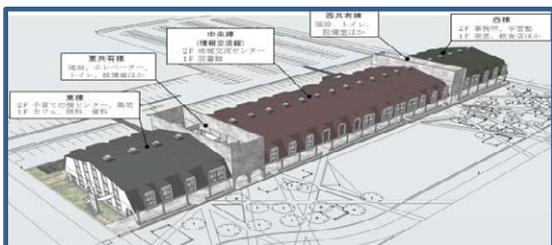
| 施設        | 利用時間          | 所管    | 管理・運営 | 職員数 | 複合化前職員数 |
|-----------|---------------|-------|-------|-----|---------|
| 図書館       | 10:00 ~ 19:00 | 教育委員会 | 町長部局  | 12  | —       |
| 地域交流センター  | 10:00 ~ 21:30 | 町長部局  | 町長部局  | 3   | —       |
| 子育て支援センター | 9:00 ~ 16:00  | 町長部局  | 町長部局  | 4   | —       |

### 施設の配置・動線

#### <ポイント>

- ・ オガールプラザ(株)が施設を整備し、完成後、町が公共施設のある中央棟を買い取っており、区分所有建物となっている。
- ・ 中央棟の図書館や地域交流センターと、東・西棟の民間テナントを合築し、建物 1 階部分にアーケードを設置することで「歩行者と建物」「建物と建物」「建物と広場」をつなぎ、一体的な賑わいのあるまち並みの形成を図った。

#### <立面図>



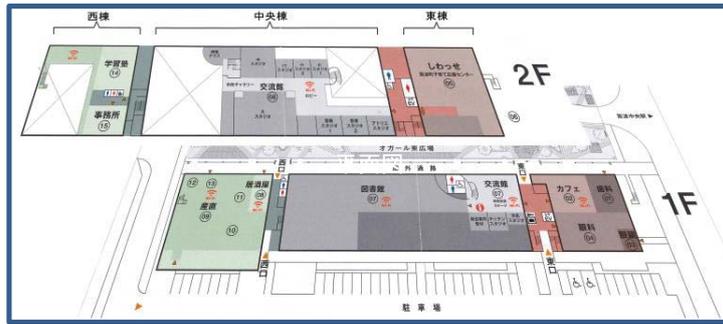
#### <配置図>



### 平面計画上の特徴

#### <ポイント>

- ・ 図書館を核とする情報交流館（中央棟）は、「情報」を仲立ちとして個々の活動やグループ間の交流を積極的に支援できるよう、図書館機能と交流機能を深く関連づけるよう配置した。
- ・ 交流館には、ミーティングや個人活動ができる小スタジオやアトリエを配置する。常時図書館の学習室として使用するスタジオは必要に応じて中スタジオとして開放。また、大スタジオは講演会やコンサート会場として活用する。



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・民間投資の誘導が図られたことにより、このエリアで 200 人の雇用が生まれた。
- ・普遍的な集客を図る施設と、来場者の誘導を図る民間の複合開発により、エリアの来場者が 94 万人（H27 年度）となっている。
- ・エリア価値が高まったことで民間投資が誘導されて、JR 紫波中央駅を中心とした 500m 圏内で人口が 400 人増加した。

### 【課題】

- ・人材面では、公共・民間を問わず、後継者の育成を行っている。
- ・事業面では、市民活動を支援することで、イベントや講座等の事業誘致を行っている。

## 主な特徴

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮 | ○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり |
| ○ 住民の意見の取り入れ・反映     | ○ 民間の力の活用（PFI など）      |
| 管理運営の工夫             | その他                    |

### 【交流活動】

- ・活動内容 音楽、絵画、手芸、ヨガなど、42 の講座が行われている。
- ・効果 図書館や産直マルシェ、スポーツ施設等が立地したことで、多様な賑わいが創出されている。
- ・課題 エリア内の駐車場の改善を図る必要がある。



実験・工作会の様子

### 【住民からの意見反映】

- ・目的 図書館や産直といった施設目的に応じて、市民の意見も反映
- ・内容 図書館の設計、産直の設計や会員募集に向けた取り組み
- ・効果 平成 27 年度の町民意識調査で、情報交流館は約 72% と高い満足度を示した。産直が賑わうことで会員も増加している。

### 【民間の力の活動】

- ・オガール紫波(株)が、紫波町と協定を結び、紫波町の代理人となって、事業構築を行った。倒産隔離のためにオガールプラザ(株)を設立し、テナント誘致や建物の設計・建築・所有を行っている。
- ・メリットは、東西棟をオガールプラザ(株)に貸付けることで、地代と固定資産税（建物分）といった歳入がある。
- ・産直マルシェでは 300 名を超える会員がいて、農業収入の増加につながっている。

## 地域住民・利用者等の声

- ・様々な世代と交流できる。
- ・町が誇れる施設だと思う。
- ・オガールを中心とした町づくりは成功していると思う。他の市町村からも来町するきっかけとなっているし、また町民も使いやすく感じている。

# 山形県村山市

## ⑧村山市総合文化複合施設

## しょうよう 甌葉プラザ

### 施設HPアドレス

<http://www.shoyo-plaza.jp/>

### <ポイント>

- ・図書館を核として、施設の各機能と特徴を活かし、交流と学習による賑わいを創造。
- ・市民や有識者等による「市民委員会」を組織し、自ら管理運営に参画する体制づくりを実施。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）／4,450㎡
  - ・甌葉プラザ（2,338㎡）
  - ・市立図書館（1,299㎡）
  - ・親子交流ひろば（408㎡）
- 整備時期／平成 21 年
- 構造／鉄骨造・地上 2 階（一部 3 階）
- 総工費／17 億円
- 主な財源／まちづくり交付金、一般財源、一般補助施設整備等事業債



建物外観（東側から建物を望む）

### 施設整備の背景

- ・村山市の中心市街地活性化、商店街活性化等を目的として複合施設の建設を模索
- ・複合施設の中核に、永年の課題であった「図書館」新規開設を置き構想
- ・「まちづくり交付金」事業を活用し建設
- ・設計は、市として初のプロポーザル方式にて設計者を選考
- ・提案設計をもとに、フォーラム等により市民の意見を設計に反映
- ・公募により、「甌葉プラザ」と命名。ロゴマークを決定
- ・平成 22 年 5 月 29 日にオープン



### 管理・運営の体制

| 施設                | 利用時間                             | 所管     | 管理・運営  | 職員数 |
|-------------------|----------------------------------|--------|--------|-----|
| 甌葉プラザ市立図書館        | 全日 8:30～22:00                    | 市長部局   | 市長部局   | 7   |
| 市立図書館             | 全日 9:00～19:00                    | 市教育委員会 | 市教育委員会 | 12  |
| 親子交流ひろば           | 全日 9:00～17:00                    | 市長部局   | NPO 法人 | 12  |
| 子育て支援             | 通常 9:30～16:00                    |        |        |     |
| 託児所               | 全日 9:00～17:00                    |        |        |     |
| 学童保育              | 平日 10:00～19:00<br>夏冬休 7:30～18:00 |        |        |     |
| オープンカフェ           | 全日 11:00～21:00                   | 市長部局   | 民間事業者  | 3   |
| コワーキングスペース kokage | 月～土 10:00～18:30                  | 市長部局   | 民間事業者  | 3   |
|                   | 日曜日 10:00～17:00                  |        |        |     |

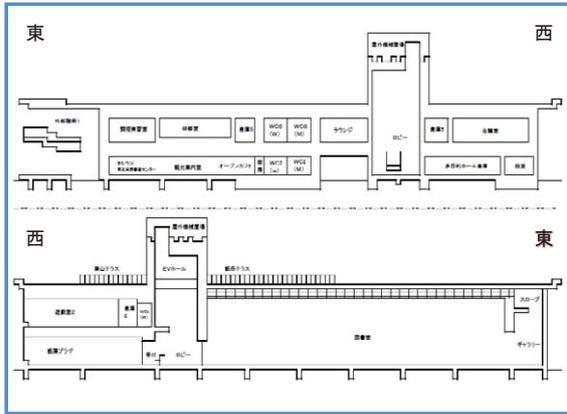
## 施設の配置・動線

### <ポイント>

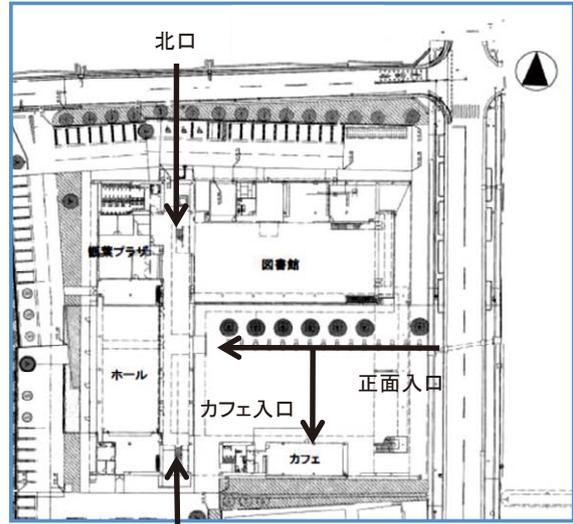
- ・ 甌葉プラザや図書館、親子交流ひろばは、入口が同じで一体的な利用がなされている。
- ・ オープンカフェは、中庭を挟んで独立している構造になっている。

### <立面図>

上：北側／下：南側



### <配置図>



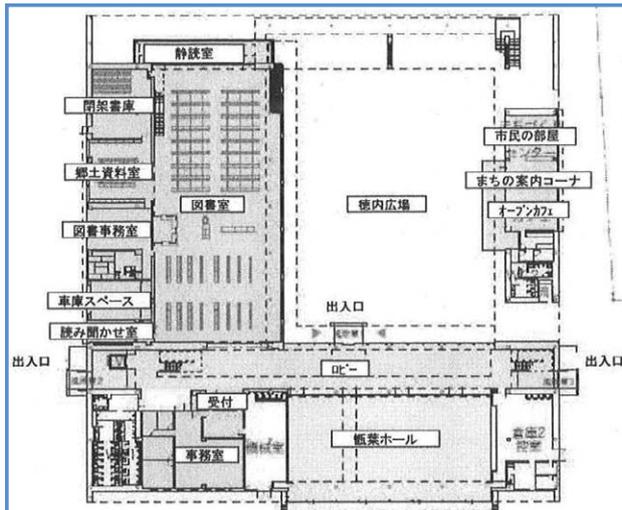
## 平面計画上的特徴

### <ポイント>

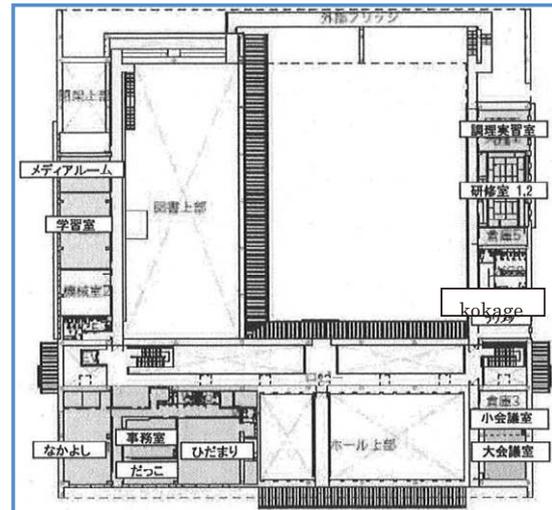
- ・ 建物は「回遊性」をテーマに設計され、北口や南口、正面入口を入れば、広大なロビー空間が広がり、図書館や親子交流ひろば、甌葉ホールへつながる。
- ・ 外観は直線とモノトーン（白・黒）のデザインとしており、落ち着いた雰囲気が市民の交流や学習の場を盛り上げ、賑わいづくりを演出している。

### <平面図>

1階



2階

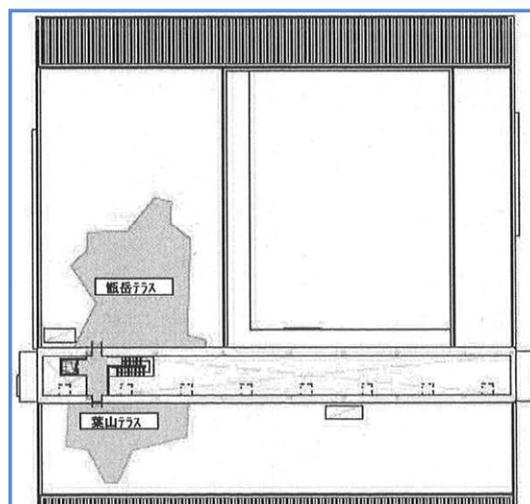


## 建物の特徴

- ・設計者 高宮真介氏をして「100年建築」と言わしめる程に吟味され、高品質と高デザインを有する建物。日本建築界も注目する建物は、材料もさることながら、地元建築業者による高い現場管理とものづくりの技術で実現された。
- ・施設の動力には、環境にやさしく経済的なオール電化方式を採用。

### 【受賞歴】

- ①平成22年度 全建賞（建築部門）
- ②平成23年度 グッドデザイン賞
- ③平成24年度 東北建築賞



## 主な機能

- |               |                                 |
|---------------|---------------------------------|
| ①まちづくり機能      | ・まちづくり団体の育成や支援、NPO法人化に向けた相談や指導  |
| ②図書館機能        | ・図書貸し出し ・レファレンスサービス             |
| ③文化交流機能       | ・徳内まつりや芸術文化イベント、趣味活動等での交流と賑わいの場 |
| ④学習機能         | ・講習会、講座の開催                      |
| ⑤子育て支援機能      | ・乳幼児の託児サービス ・親子の交流 ・学童保育        |
| ⑥市民サービス提供機能   | ・住民票、印鑑証明書の交付                   |
| ⑦高度情報化、情報発信機能 |                                 |
| ⑧集会研修機能       | ・会議や研修など利用形態に応じた貸出し             |
| ⑨起業・創業機能      | ・コワーキングスペース                     |

## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・複合化・集約化により、図書館や親子交流ひろばなどの連携とあいまって、施設全体の業務の円滑化や効率化が図られるとともに、市民サービスが充実・向上をした。
- ・施設の特徴である交流（動）と学習（静）による賑わい創造をふまえ、施設利用者や団体の関わりが飛躍的に深まっている。

### 【課題】

- ・複事業内容のマンネリ化などが懸念され、行政や協力団体、NPO団体、市民を巻き込んだ施設の運営で事業の充実を図りたい。
- ・今後、経年などに伴い施設全般における管理コストの上昇が懸念される。

## 主な特徴

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮 | ○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり |
| ○ 住民の意見の取り入れ・反映     | ○ 民間の力の活用（PFIなど）       |
| 管理運営の工夫             | その他                    |

### 【交流と学習による賑わいの創造】

図書館をはじめとする施設の各機能と特徴を活かし、交流（動）と学習（静）による賑わいを創造している。この相反した動と静をうまく融合させ、「人が集まれば、賑わう」を基本に、施設が持つ様々な機能を活用した事業を展開しながら事業間の連携を図り、より質の高い利活用を目指している。

特に、甌葉プラザの大きな特徴としては、オープンカフェや徳内広場など施設のいたるところで読書を楽しむことができ、この読書空間を利用し、市民が出会い、そこから多くの交流が次々に生まれ、賑わいに相乗効果をもたらされている。

#### (1) 「交流」によるまちづくり

地域経済の活性化やまつりを含む文化の育成と各種団体の活動・発表の場として、内外の人々が気軽に交流できる場所となっている。

また、図書館と親子交流ひろばなどの活用で、イベント時にとどまらず、いつでも交流ができ、絶えず人々が賑わいや活力を感じられる。

#### (2) 「学習」によるまちづくり

多くの市民が気軽に学習できる施設である。市民の学習や教育、情報収集の場だけでなく、生涯学習や文化活動の向上を支援する施設として、地域に密着し、学ぶ楽しさが実感できる賑わいある施設を目指している。



親子交流ひろば



図書館 おはなしのへや



イベントで賑わう徳内広場

### 【市民委員会と甌葉プラザ協力団体】

- ・運営にあたり、プロポーザルのコンセプトを基本に、市民や利用者、有識者による「市民委員会」を組織し、市民や利用者が自ら管理運営に参画していく体制づくりを行っている。
- ・甌葉プラザを拠点に「交流・学習」を目的に活動する団体等が、「協力団体」に登録した場合、施設使用料を減免するほか、イベントや事業のPR 協力等の活動支援をしている。
- ・「協力団体」は、まちづくり事業にも積極的に参加しており、賑わいが創出されるとともに、市民参加型のまちづくりが進められている。

### 地域住民・利用者等の声

- ・季節ごとのイベントをしているので、子供からお年寄りまで楽しめて触れあえる。
- ・全体的に落ち着きがあって、若者からお年寄りまでの憩いの場所になっている。
- ・開放感のある室内と外観、ガラス張りですぐ外にいる感じがして落ち着ける。居心地がいい。
- ・村山市内でイベントをするには一番いい場所。
- ・図書館は静かでリラックスでき、落ち着いて勉強できる。
- ・畳の部屋があり乳幼児の集まりにピッタリ。
- ・カフェの料理がおいしい。

# 山形県東根市

## ⑨ 東根市公益文化施設 まなびあテラス

施設HPアドレス  
<http://manabiaterrace.jp/>

### <ポイント>

- ・PFI方式により一括して発注し、設計段階から運営事業者・維持管理事業者が参画。
- ・施設間で連合企画を行い、集客力を互いに享受。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）／4,401㎡
  - ・図書館（1,886㎡）
  - ・美術館（1,541㎡）
  - ・市民活動支援センター（186㎡）
- 整備時期／平成28年
- 構造／鉄骨造・一部RC造、地上2階
- 総工費／34億円
- 主な財源／都市再生整備計画事業費交付金、地域活性化事業債、基金、一般財源



メインアプローチと正面入口。左側が美術館、右側が図書館。手前には公園が広がる。

### 施設整備の背景

- ・平成23年第4次東根市総合計画において文化施設整備プロジェクトを掲げる。
- ・市の規模に見合った図書館の整備と、芸術文化の振興のため専門施設を新たに整備する必要があった。
- ・平成26年、特別目的会社「(株)メディアゲートひがしね」と約22年間のPFI事業契約を締結。

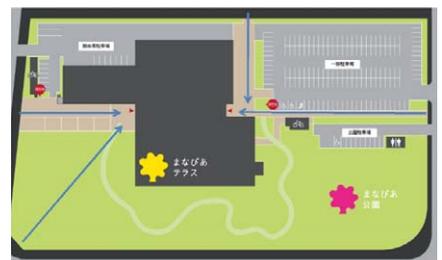
### 管理・運営の体制

| 施設         | 利用時間  | 所管    | 管理・運営                        | 職員数 | 複合化前職員数 |
|------------|---|-------|------------------------------|-----|---------|
| 図書館        | 9:00～20:00<br>(平日・土)<br>9:00～19:00<br>(日・祝) | 教育委員会 | 特別目的会社<br>(株)メディアゲート<br>ひがしね | 11  | 10      |
| 美術館        | 9:00～18:00                                  |       |                              | 4   | —       |
| 市民活動支援センター | 9:00～21:30                                  |       |                              | 5   | —       |

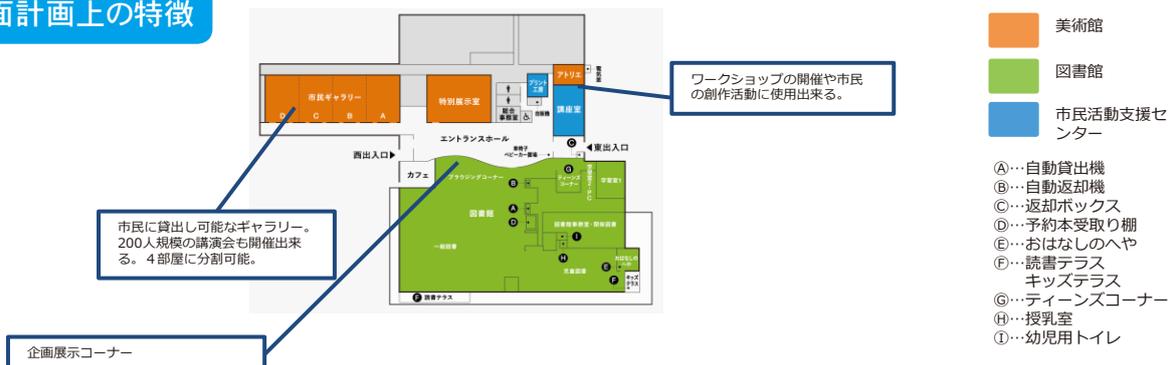
※館長はそれぞれ兼務

### 施設の配置・動線

- ・施設南側に公園を整備
- ・車で来館者が多いため、一般駐車場のある東側からの来館が多い。
- ・施設の北側には山形県立東桜学館中学校・高等学校があるため、北側に設けた専用通路からは中高生の来館がある。



### 平面計画上の特徴



- 美術館
  - 図書館
  - 市民活動支援センター
- ㊤…自動貸出機
  - ㊦…自動返却機
  - ㊧…返却ボックス
  - ㊨…予約本受取り棚
  - ㊩…おはなしのへや
  - ㊪…読書テラス
  - ㊫…キッズテラス
  - ㊬…ティーンズコーナー
  - ㊭…授乳室
  - ㊮…幼児用トイレ

## 主な特徴

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮 | ○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり |
| ○ 住民の意見の取り入れ・反映     | ○ 民間の力の活用（PFI など）      |
| ○ 管理運営の工夫           | その他                    |

### 【住民の意見の取り入れ】

- ・平成24年に市民検討委員会を組織し委員22名による計11回の検討会議を行った。その検討内容を基に、公益文化施設整備基本構想・基本計画を策定した。
- ・図書館協議会、美術館協議会を設置し、運営に対する意見を収集し反映している。
- ・意見箱の設置により、要望意見等を収集し運営内容に反映している。

### 【賑わいの創出】

- ・まちづくりの拠点として、ワークショップやマルシェなど多様なイベントを実施。
- ・魅力あるカフェを整備することで、新たに人と人の交流拠点が創出された。



本事業で合わせて整備した公園を会場に開催されるマルシェ



事業者の独立採算で運営されるカフェは、魅力ある空間づくりに貢献している

### 【PFI方式による事業実施】

- ・民間資金を活用したPFI方式により、設計・建設・運営・維持管理を一括して発注している。
- ・設計段階から運営事業者・維持管理事業者が参画することにより、効果的・効率的な運営や維持管理を考慮した施設づくりが出来る。
- ・設計から運営まで一括契約のため、コストダウンが見込まれる。
- ・民間のノウハウを有効活用することで、サービスの向上が図られた。

### 【複合施設としての相乗効果】

#### 〈連動企画〉

- ・図書館内での美術館展覧会と連携したイベントを開催
- ・図書館内の企画展示コーナーで、美術館の催事に合わせた作品や本などを展示
- ・市民ギャラリーを使用して図書館主催の講演会等を開催
- ・美術館での企画展示の関連講座を市民活動支援センターで開催
- ・市民活動支援センターでの講座と、アトリエを使用したワークショップの連携



講座室とアトリエを一体的に使用したワークショップ



展覧会と連動した図書館での蓄音機ライブの開催

#### 〈集客力〉

- ・今まで図書館にしか来ていなかった人が美術館にも立ち寄るようになるなど、集客力を互いに享受出来る。

### 【運営の工夫】

- 「多少の喧噪を包み込む賑わいのある文化施設」をコンセプトとし、子どもからお年寄りまで気軽に利用してもらえる雰囲気づくりを目指す。
- ・多少のおしゃべりを寛容する
  - ・図書館内での落語講演や蓄音機ライブなど、これまでになかった多彩なイベントの開催
  - ・図書館内への飲み物の持ち込みが可能
  - ・エントランスホールや美術館でのミニコンサート等の開催



# 福島県会津若松市

## ⑩ 会津若松市生涯学習総合センター（會津稽古堂）

### 施設HPアドレス

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2007080600753/>

### <ポイント>

- ・図書館を中心に配置し、各施設から容易にアクセスできるよう工夫を行い、これまで利用が少なかった層の利用につながった。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）／9,365㎡
  - ・中央公民館（2,943㎡）
  - ・会津図書館（2,808㎡）
  - ・多目的ホール・市民ギャラリー（550㎡）
  - ・地下駐車場（3,064㎡）
- 複合化前の総床面積／3,784㎡
- 整備時期／平成23年
- 構造／鉄骨鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階
- 総工費／31億円
- 主な財源／自主財源・まちづくり交付金合併特別債



生涯学習総合センター「會津稽古堂」

### 施設整備の背景

- ・中央公民館と会津図書館の施設の老朽・狭隘化
- ・平成6年、市政方針で公民館機能と図書館機能を中心とした生涯学習拠点施設の整備を提案、その後平成14年に市民からの請願・陳情等により、基本構想の公表に至る。

### 管理・運営の体制

| 施設                | 利用時間                       | 所管    | 管理・運営      | 職員数      | 複合化前職員数 |
|-------------------|----------------------------|-------|------------|----------|---------|
| 中央公民館             | 9:00～22:00                 | 教育委員会 | 生涯学習総合センター | 職員10     | 職員13    |
| 会津図書館             | 9:00～19:00<br>日祝9:00～18:00 | 教育委員会 | 生涯学習総合センター | 職員9      | 職員12    |
| 多目的ホール<br>市民ギャラリー | 9:00～22:00                 | 教育委員会 | 生涯学習総合センター | 舞台技術指導員2 | —       |
| 駐車場               | 8:45～22:00                 | 教育委員会 | 生涯学習総合センター | —        | —       |

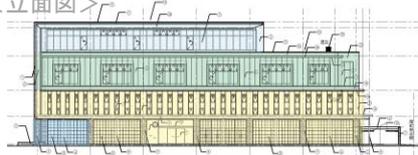
### 施設の配置・動線

#### <ポイント>

1階に公民館機能の実習スタジオ系と多目的ホール・市民ギャラリーを、2・3階に図書館機能を、4階に研修室等を配置し、エレベーターやエスカレーターで移動可能とした。

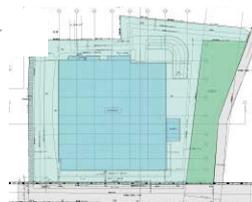
また、地下駐車場（91台）及び地上駐車場（12台）を配置した。

#### <立面図>



- 公民館
- 図書館
- ホール

#### <配置図>



- 建物
- 敷地
- 都市公園
- 道路

### 平面計画上的特徴

#### <ポイント>

- ・学習・発表の場としての公民館・多目的ホール機能と、調査・研究の場としての図書館機能を備えており、これらを効率的に機能させるため、1階の多目的ホールおよび各実習スタジオ、4階の研修室のどちらからも容易にアクセスできる「学びの蔵」の中心となる図書館ゾーンを3階に配置した。



1F

3F

4F

## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・生涯学習の拠点施設として、公民館機能と図書館機能を併せ持つ施設および生涯学習課との統合により、施設の維持管理費や人件費等の経費が削減された。
- ・公民館においては、乳幼児から中高生までの若者の利用者が増加し、図書館においては、高齢者の利用者の増加がみられ、お互いに相乗効果が図られており、センターとしての来場者は年間55～59万人であり、図書館の貸出冊数は年間50万冊を超えている。
- ・多目的ホールを活用して、絵本の朗読と映像および音楽のコラボである「絵本の音楽会」の開催や図書館所蔵の映像資料の上映会である「ライブリックシアター」の開催そして絵本の読み聞かせと絵本の中のお菓子づくりをあわせた「絵本のレシピにチャレンジ！」の開催等、主催事業の多様化が図られている。

### 【課題】

- ・生涯学習の拠点としてスタートし、平成27年度に策定した「生涯学習推進ビジョン」に基づき、住民参画事業や人材育成事業に取り組んでいるが、これに携わる社会教育主事の配置など、専門職員の充実・育成が必要である。
- ・複合化により施設の維持管理費の削減が図られたところであるが、最新の機能をもつ集中管理システムが導入されたことにより、施設管理における知識と経験が求められる。

## 主な特徴

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮 | ○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり |
| ○ 住民の意見の取り入れ・反映     | ○ 民間の力の活用（PFIなど）       |
| ○ 管理運営の工夫           | その他                    |

### 【管理運営の工夫】

地中採熱システムや雨水利用システムを導入することにより、光熱水費の削減を図るとともに、環境への負荷の低減を図っている。

### 【集約化・複合化による相乗効果の発揮】

学習・発表の場としての公民館の機能と、調査・研究の場としての図書館の機能を備えており、これらを効率的に機能させるため、1階の多目的ホールおよび各実習スタジオ、4階の研修室のどちらからも容易にアクセスできる「学びの蔵」の中心となる図書館ゾーンを3階に配置した。

それにより公民館においては、乳幼児から中高生までの若者の利用者が増加し、図書館においては、高齢者の利用がみられ、お互いに相乗効果が図られた。

### 【コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり】

役所に近接し中心市街地の立地により、中心市街地のにぎわいづくりに寄与している。

### 【民間の力の活用】

総合案内業務、図書館カウンター業務及び移動図書館運行業務を民間事業者アウトソーシングすることにより、効率的な運営が行われている。

### 【住民からの意見反映】

- ・音を出して活動する音楽スタジオ、多目的ホール、音を出すことを前提とした研修室1・7については、利用者の方々からの要望も取り入れ、それぞれの利用者が気兼ねなく快適に利用できるよう、十分な防音機能を持ったドアをそれぞれ取り付けた。
- ・4階の和室においては、利用者の要望を取り入れ、茶室を併設した。
- ・小ホールや展示スペースの要望があり、多目的ホールと市民ギャラリーを併設した。

### 【絵本のレシピにチャレンジ！】

絵本に登場するお菓子を親子で一緒につくり、読み聞かせを楽しみながら、お菓子を味わう。

絵本の世界をより深く楽しむとともに、親と子が一緒に体験することで、料理や食べ物に対する興味が深まる。



## 地域住民・利用者等の声

### 【3周年記念イベントでの声】

- ・学びの場、ふれあいの場、一生涯学べる場です。
- ・スタッフの丁寧な対応に感謝。
- ・交通の便がよく、嬉しい。

- ・イベントがあったり、図書館があったり、楽しいです。
- ・ライブリックシアターを今後も続けてください。
- ・健康スタジオに通って3年、体づくりの大切さを実感しています。